

獨協大学
獨協医科大学
姫路獨協大学

いのくち ゆうじ
猪口雄二

学校法人獨協学園 理事長



2023(令和5)年8月2日付で新たに理事長に就任した。猪口理事長は、1955年東京都出身。獨協高等学校から第1期生として獨協医科大学へ進学。卒業後同大学での勤務の後、医療法人財団を病院長・理事長として経営する他、厚生労働省中央社会保険医療協議会委員、同省社会保障審議会医療部会委員などを歴任。公益社団法人日本医師会副会長、公益社団法人全日本病院協会会長を現任。長年にわたり医療・厚生行政とのかかわりが深い。また、本学園評議員を2003年から2018年3月まで務め、2018年4月か

ら現在まで理事在任。長年にわたり学園経営に携わっている。

専門分野はリハビリテーション、整形外科。性格は慎重繊細にして大胆。獨協学園の出身であることから学園への深い愛情を持っている。140年の歴史を有する本学園と、その構成校すべての発展及び学生、教職員等関係する人々の幸せを願い、理事長に就任した。急速な少子化の中でも学園の総合力により、歴史ある獨協ブランドをさらに発展させたいと考えている。学生時代からの趣味はギターで、現在もロックバンドを率いており、年数回のコンサートを開催している。

大正大学

かんだつ ちじゆん
神達知純

大正大学 学長



2023年11月1日付で神達知純仏教学部教授が第37代学長に就任した。任期は4年。

新学長は、1969年東京

都生まれ。1995年京都大学文学部卒業、2003年大正大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程単位取得後退学。2008年博士(仏教学)。同年大正大学仏教学部非常勤講師、2011年大正大学仏教学部特任専任講師、2015年大正大学仏教学部准教授、2021年大正大学仏教学部教授。2017年学長補佐、2019年副学長を歴任。

専門分野は、天台大師智顛ちぎの教学を中心に中国仏教や天台教学を研究。最近は、現代社会における仏教の役割にも関心を寄せている。

新学長は、2026年に迎える大正大学創立100周年を「第二の開学」と捉え、建学の理念である「智慧と慈悲の実践」に基づき、大正大学の教育ビジョン(慈悲・自灯明・中道・共生)に対して現代的な解釈を加えた新しい学力観を、学生に示していく。多忙の中でも、時折は趣味の音楽鑑賞と野球観戦でリフレッシュして大学運営にあたっている。

小仲 信孝(こなかのぶたか)

跡見学園女子大学学長。'82早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。跡見学園女子大学短期大学部を経て、'22より現職。専門は日本近代文学。

田中 愛治(たなかあいじ)

早稲田大学総長。'85米国オハイオ州立大学博士課程修了。政治学博士(D.P.H.)。早稲田大学教授、理事、世界政治学会(I.P.S.A)会長等を経て、'18より現職。

伊藤 文一(いとうふみかず)

福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部学長。東京学芸大学大学院・九州大学大学院人間環境学研究所修士課程修了。'21より現職。専攻は学校臨床教育学。

津吹 達也(つぶきたつや)

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部教授。'12グローバルビジネス経営大学院(M.B.A)修了後、アジア地域の海外営業、インドネシア駐在を経験。'21より現職。

請川 滋大(うけがわしげひろ)

日本女子大学学生生活部長・家政学部教授。'98北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学。'21より現職。専

門は幼児教育学。主著『子ども理解』等。

深尾 昌峰(ふかおまさたか)

龍谷大学副学長・政策学部教授。滋賀大学大学院修了。修士(教育学)。'10龍谷大学准教授、'18同教授に就任。'22より現職。社会貢献・SDGs等を担当。

八木 雅史(やぎまさし)

流通科学大学経済学部学部長・教授。'88神戸大学法学研究科博士課程単位取得退学。修士(法学)。'88より現職。主著『新民法教室Ⅱ』(法律文化社)(共著)等。

山田 健太(やまだけんた)

専修大学文学部(ジャーナリズム学科)教授。'84青山学院大学卒業。専門は言論法、ジャーナリズム研究。近著『沖繩報道』『法とジャーナリズム 第四版』。

渡辺 龍也(わたなべたつや)

東京経済大学名誉教授。'77東京大学卒、'89タフツ大学フレッチャー国際法・外交大学院修士課程終了。NHK記者、国際機関職員等を経て東京経済大学教員。

今井 重男(いまいしげお)

千葉商科大学副学長・サービス創造学部教

授、千葉学園理事。筑波大学大学院システム情報工学研究科博士後期課程。'21より副学長・理事。

滝澤 淳浩(たきざわあつひろ)

千葉商科大学サービス創造学部准教授。大学卒業後、証券会社営業職、電子部品専門商社広報室長を経て、'15より現職。

山田 真代子(やまだみよこ)

浜松市くらしのセンター消費者教育コーディネーター。静岡大学教育学部卒業後、小学校・幼稚園で勤務。'22より現職。

佐野 竜平(さのりゅうへい)

法政大学現代福祉学部教授。チェンマイ大学大学院芸術・メディア・技術学院修了(博士・知識創造論)。研究テーマは「アジアの障害インクルーシブな国際協力」。

瀧村 尚也(たきむらなおや)

麗澤中学・高等学校S.D.G.S研究会顧問、地歴公民科教諭。法政大学法学部卒業。'18にパリスタから教員に転身し麗澤中学・高等学校で教鞭を執る。

杜 純江(もりよしえ)

白百合女子大学国際交流オフィス／プログ

ラム支援センター。白百合女子大学文学部
国語国文学科卒業。拓殖大学国際開発研
究所附属国際開発教育センター公開講座
「国際開発教育ファシリテーター養成コース
(通常)」修了。

福田 裕昭(ふくだひろあき)

学校法人立教学院理事長。'84立教大学経
済学部経済学科卒業。テレビ東京政治部
長、同首席執行役員報道局長等を経て'22
より現職。

新山 文洋(しんやまふみひろ)

東洋大学情報システム部情報企画課 課長。
学長室学長事務課、高等教育推進支援室、
大学評価支援室を兼務。

笠原 隆(かさはらたかし)

東洋大学学生部学生支援課 課長。

渡辺 圭祐(わたなべけいすけ)

学校法人追手門学院CXデザイン局長。一
橋大学大学院国際企業戦略研究科博士課
程単位取得満期退学、芝浦工業大学、内閣
府等を経て'18追手門学院入職。

藤本 一之(ふじもとかずゆき)

東北大学情報部デジタル変革推進課 課長。

大澤 航介(おおさわこうすけ)

東京歯科大学社会歯科学講座助教。'20 3
月東京歯科大学大学院歯学研究科修了。
博士(歯学)。'20 4月より現職。専門は社会
歯科学。

水村 容子(みづむらひろこ)

東洋大学福祉社会デザイン学部学部長・教
授。博士(学術)。スウェーデン王立工科大学客
員研究員等を経て'06年より東洋大学。主著
『スウェーデン「住み続ける」社会のデザイン』。

長谷部 弘(はせべひろし)

宮城学院女子大学学長。'55生まれ。福島市
出身。'23 4月より現職。東北大学大学院経
済学研究科修了。専門は日本経済史。博士
(経済学)。

小林 甲一(こばやしこういち)

名古屋学院大学現代社会学部教授。'86神
戸大学大学院経済学研究科博士後期課程
単位取得満期退学。博士(経済学)。名古屋
学院大学現代社会学部長、学長を歴任。

澤田 瞳子(さわだとうこ)

'02同志社大学大学院文学研究科博士前期課
程修了。'10に『孤鷹の天』でデビューし、同作で
中山義秀文学賞を受賞。'21に『星落ちて、な

お』で、第165回直木三十五賞を受賞。

脇浜 紀子(わきはまのりこ)

京都産業大学現代社会学部教授。神戸大
学法学部卒業。'90読売テレビ入社。'10大阪
大学大学院国際公共政策博士取得。研究
分野は地域メディアと地域情報。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、
できる限り統一して掲載いたしました。

「大学院リカレント教育の再定義と再評価」
「リスキリング」という新たな社会のニーズ
を踏まえて」を公表

現在、国や産業界からは、Society5.0
時代に求められる高度専門人材の育成
に向けて、社会人の学び直しであるリカ
レント教育に関心が寄せられています。

教育研究委員会リカレント教育推進
分科会では、大学院教育およびリカレン
ト教育において私立大学が果たす役割
とともに、リカレント教育の推進に不可
欠となる企業・産業界との連携につい
て、また国の支援のあり方について課題
と提言をとりまとめました。

[https://www.shidairen.or.jp/
topics_details/id=4016](https://www.shidairen.or.jp/topics_details/id=4016)



会長の動き

● 11月6日(月)

主要国会議員に令
和6年度予算・税
制を要望



● 11月7日(火)

日本私立大学団体
連合会「私立大学
等の振興に関する
協議会」に出席
第8回常務理事会、
理事補欠選考委員
会に出席



● 11月21日(火)

第7回理事会、第2回総会に出席

● 11月29日(水)

全私学連合臨時代表者会議に出席

● 12月12日(火)

第9回常務理事会に出席

開催報告

● 12月5日(火)

令和5年度第2回財務・人事担当理事者
会議(オンライン開催)

● 12月11日(月)

『私立大学ガバナンス・コード【第2.0版】改
訂草案』に関するオンライン説明会

● 12月19日(火)

令和5年度第2回学長会議(ハイブリッ
ド開催)

私大連 TOPICS

令和5年秋の叙勲・褒章

(私大連事業関係者)

◆ 瑞宝中綬章

市川 太一

(広島修道大学元学長、
広島修道大学名誉教授)

岩崎 宏

(福岡大学名誉教授)

小野 祥子

(東京女子大学元学長)

杉村 芳美

(甲南大学元学長、
甲南大学名誉教授)

鶴身 潔

(甲南大学名誉教授)

◆ 瑞宝小綬章

堀上 英紀

(法政大学名誉教授)

各資料は、左の私大連Webサイトを
ご覧ください。

私大連Webサイトに
各種活動に関する情報を公開

<https://www.shidairen.or.jp/>



座談会 「大学におけるトイレの今どき事情—ダイバーシティの観点から—」

特集 「SGUが大学にもたらしたもの
—大学のグローバル化推進の10年と今後の展望—」

小特集 「大学のスポーツ支援体制」

だいがくのたから 東京国際大学

大学点描 京都精華大学

クローズアップ・インタビュー 巽 樹理さん(追手門学院大学共通教育機構准教授、元アーティストティックスライミング選手)

編集後記

◆「フェアトレード」。この言葉を、何となく知っているという人は多いのではないだろうか。私も、何となく知っている。一人であるが、本特集の読後には理解が深まった実感を得ることができた。この理解の深まりは何に起因しているのかを考えてみると、内容の具体性にあるのではないかと感じている。

ここで紹介されている各団体での取り組み事例は、非常に具体的でかつ身近な事象を取り上げているため、自分事として捉えやすいのである。また、それぞれの活動は大学生や高校生が持続性を意識しながら取り組んでおり、非常に頼もしい。日常的に学生と接している関係者の皆さんにとっても、主体的な活動を促すとはどういうことかという気づきにつながっているのではないか。フェアトレード大学認定基準を一つの指針として取り組んでいくことは、フェアトレードを実現するだけでなく、活動に参加する学生の学びや成長にとっても非常に意義深く、大学全体の活性化にも寄与するものだ。〈広報・情報委員会 大学時報 分科会委員・法政大学多摩事務部 多摩事務課課長 須藤智徳〉

◆コロナ禍を契機に社会におけるあらゆるもののDXが加速し、教育環境においてもオンライン化・デジタル化が進んでいる。今回、この変革の波の中で、未だ磁気やICチップを搭載したプラスチック製の学生証が主流であることに着目し、それに連動する通学定期券発行も含め、大学や企業の先進事例から今後の課題と展望を探った。

紹介事例には、大学が提供するサービス・情報をプラットフォームとして一元的に集約したアプリに「学生証」を機能として搭載するものもあった。学生証のデジタル化にとどまらず、種々のデータと連動させ教育的なサービス拡大の可能性がある点が興味深かった。

学生情報を含む個人情報が入念にイン上で管理されることで、セキュリティやコストなど新たな課題が浮上り、試行錯誤が続くが、学生証は物理的なものでなく、複合的なサービスの一つとして提供されるという、新たなステージがすぐそこまで来ていることを実感した。〈広報・情報委員会 大学時報分科会委員・関西学院院広報室 企画広報課課長 中谷良規〉

◆本号のインタビュー、座談会を通じて、暮らす土地や場所について思いを馳せた。

澤田瞳子さんは京都生まれの京都育ち。特別な感覚はないものの、京都にいたからこそ、日本の歴史や文化との距離の近さを感じる日々を送っておられるという。学生時代の学び、母校で続けるアルバイト等が、作品執筆に繋がっていることを感じることができた。

座談会では「大学学生寮」をテーマとした。寮は、安心・安全、経済的な面から学生生活を支えるだけでなく、新たな出会いや学びを提供し、世界にも広がる新たな価値創造の場へと進化し続けていることを感じる。大学での学びは正課授業に限らないが、生活を共にすることで生まれる出会いや学びの深さ・広がり、イメージしていた以上のものがあった。

入寮できる学生は限られているが、少し視野を広げて生活の場を見渡せば、大学所在周辺地域・企業との連携など、澤田さんが感じておられる距離の近い、身近な学びの場がそこに広がっている。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (123大学 令和6年1月20日現在)

愛知大学	関西大学	南山大学	園田学園女子大学
亜細亜大学	関西学院大学	日本大学	大正大学
青山学院大学	関東学園大学	日本女子大学	拓殖大学
跡見学園女子大学	関東学院大学	ノートルダム清心女子大学	天理大学
梅花女子大学	慶應義塾大学	大阪学院大学	東邦大学
文教大学	恵泉女学園大学	大阪医科薬科大学	東北学院大学
筑紫女学園大学	敬和学園大学	大阪女学院大学	東北公益文科大学
中京大学	神戸女学院大学	大谷大学	東海大学
中央大学	神戸海星女子学院大学	追手門学院大学	常磐大学
大東文化大学	皇學館大学	立教大学	東京医療保健大学
獨協大学	國學院大學	立正大学	東京女子大学
獨協医科大学	国際武道大学	立命館大学	東京女子医科大学
姫路獨協大学	国際基督教大学	立命館アジア太平洋大学	東京経済大学
同志社大学	駒澤大学	龍谷大学	東京国際大学
同志社女子大学	甲南大学	流通科学大学	東京農業大学
フェリス女学院大学	久留米大学	流通経済大学	東京情報大学
福岡大学	共立女子大学	西武文理大学	東京歯科大学
福岡女学院大学	京都産業大学	聖学院大学	東洋大学
福岡女学院看護大学	京都精華大学	成城大学	東洋英和女学院大学
学習院大学	京都橘大学	聖カタリナ大学	東洋学園大学
学習院女子大学	九州産業大学	成蹊大学	豊田工業大学
白鷗大学	松山大学	西南学院大学	津田塾大学
阪南大学	松山東雲女子大学	聖路加国際大学	和光大学
広島女学院大学	明治大学	清泉女子大学	早稲田大学
広島修道大学	明治学院大学	聖心女子大学	山梨英和大学
法政大学	宮城学院女子大学	専修大学	四日市大学
実践女子大学	桃山学院大学	石巻専修大学	四日市看護医療大学
上智大学	桃山学院教育大学	芝浦工業大学	
城西大学	武蔵大学	白百合女子大学	
城西国際大学	武蔵野大学	仙台白百合女子大学	
順天堂大学	武蔵野美術大学	昭和女子大学	
金沢星稜大学	名古屋学院大学	創価大学	

大学時報 University Current Review

2024/1月号

第73巻414号(通巻427号)

令和6年1月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 森康俊(関西学院大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9
KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
中山映(上智大学学事局学事センター事務長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
中谷良規(関西学院広報室企画広報課課長)
塩原良和(慶應義塾大学法学部教授)
野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)
長野香(立教学院広報室長)
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学ブランディングセンター長、広報部部长)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)
鈴木宏隆(早稲田大学総長室募金担当部長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

